



総理研研究テーマ[R3~5年度]

山梨県固有のデザインソースの蓄積と「山梨らしさ」を付加価値とした製品等の開発に関する研究

串田賢一・秋本梨恵・佐藤博紀・中村卓・保坂響（産業技術センター）・郷健太郎・木下雄一朗（山梨大学）・近藤暁子・小畠茂雄・丸尾依子・海老沼真治・中野賢治・松田美沙子・茶園紘己（県立博物館）・齊藤初美（県立文学館）

1 背景・目的

◆「地域らしさ」の重要性

地域・地場産品のブランディングを進めるうえで、単に情報発信を行うのではなく、自然や歴史、風土、文化、伝統などに根ざした「地域らしさ」を活かし、人々に共感される背景や物語を作り込むことが不可欠。



◆「地域らしさ」を可視化する

人々の意識や、一部の人にしか知られていない知見を、「形あるモノ」「言葉」などに可視化し、使うことのできる「仕組み」や「カタチ」にすることが重要。



◆山梨の現状

これまで山梨県では、デザインの視点からの総合的な調査・研究の蓄積が十分でなかった。



◆本研究の目的

地域に眠っている様々な資源をデザインの観点から捉え直し、データ化や言語化を行うことで、新しいブランディングの一助となるよう研究を行う。

2 研究内容と成果概要

次の3つの内容で研究を実施し、成果を得た。

① 地域固有のデザイン資源の掘り起こしと蓄積

古い店舗看板（文字）や郷土民俗資料群「甲州文庫」から800点以上の資料をデジタル化した。

この他、県内で出土した土器の形状や染色用型紙の文様など、様々なデザインソースをデジタルデータ化したうえで、デザインデータベースを構築し、Web上で公開を開始した。**[③]**

② 付加価値を生む「山梨らしさ」の構成要素の解明

人文科学・感性工学・深層学習の観点から「山梨らしさ」を分析した。人文科学面からは、従来の山梨觀とは異なる、新たな山梨觀を6つのキーワードを導出した。感性工学面からは、山梨のイメージを説明する4つの因子を特定した。深層学習面からは、画像の「山梨らしさ」を評価するAIモデルを作成した。**[④～⑥]**

③ 愛着を持って長く使える地場産品の創造

地元の製造技術を活用し、山梨の暮らしの中で長く使うことのできる、「山梨らしさ」を織り込んだプロダクト2点をデザイン・試作した。**[⑦]**

●問い合わせ先

山梨県産業技術センター デザイン技術部

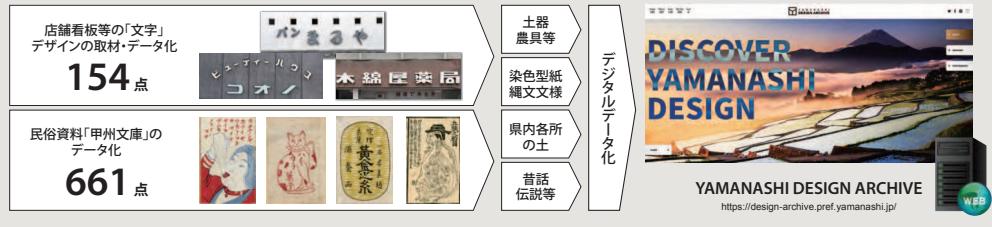
主任研究員 串田賢一

Tel: 055-243-6111

e-mail: kushida-wkp@pref.yamanashi.lg.jp

3 デザイン資源の蓄積とデジタルアーカイブ構築

地域のデザイン資源の蓄積・流通を担うデータベースの構築



4 人文科学面から見た「山梨らしさ」

新たな「山梨觀」を表す6つのキーワードを導出

〔從来言われてきた山梨觀〕

- 閉鎖的
- 保守的
- 江戸のミニチュア
- 文化が低調
- 武田信玄ゆかりの事象が多い

歴史面からの検討

各専門分野（歴史（近世・近現代）、民俗、美術史）における個別研究～発表～ディスカッション

現代人の心象の分析

小中学生の「山梨」を表現した絵画に描かれたモチーフ分析（n=1,143）

新たな山梨觀となる6つのキーワード

- | | |
|------------------------|---------|
| (地形・村落空間から来る) | 立体性 |
| (人・技術・外部との) | 交流（結節点） |
| (イメージの) | 複層性 |
| (共同体の繁栄を意識する) | 資源の共有 |
| (未知の事象への関心と獲得するための行動力) | 外向性 |
| (共同体外部に対する優位性獲得) | 上昇志向 |

5 感性工学面から見た「山梨らしさ」

山梨を好意的に捉える4つのイメージワードを特定

県内20,000点の風景画像をGoogle ML Kitにより機械分類 → 120枚に圧縮



インターネットサーチ(SD法)

◆被験者: 900名
・県内在住者 300名
・県外在住者 600名
◆年齢: 20～75歳
◆性別: 男女各半



※因子分析(最尤法・Promax回転)

※総回答数36,000 → 分析対象24,923

山梨の風景的印象を説明する4因子

- 「均整性」因子
- 「力量性」因子
- 「開放性」因子
- 「人工性」因子

「山梨らしさ」と相關の高いキーワードを抽出

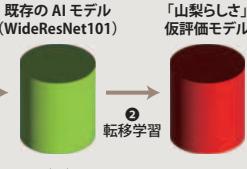
- 調和のとれた(r=0.82)
- かっこいい(r=0.76)
- 開放的な(r=0.82)
- 田舎的な(r=-0.53)

6 深層学習面から見た「山梨らしさ」

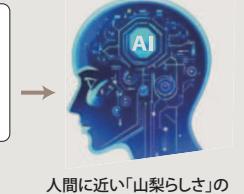
人が評価する「山梨らしさ」に近い評価をシミュレートするAIの作成



④ 反復学習



④ 反復学習



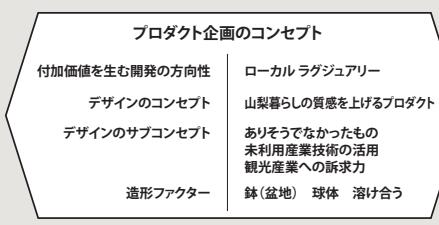
人間に近い「山梨らしさ」の評価をするAIモデルを作成

7 「山梨らしい」プロダクトの試作開発

地元の製造技術を生かした新規プロダクト(2点)の試作開発



【 鋳造 ×郷土料理】
ほうとう用鉄鍋 GUTSU GUTSU



【 金属加工 × 果樹】
葡萄&桃用ハンドルギューザ Gyu Gyu